

みんなで考える「まちづくりと公共施設の再生」結果報告



公共施設マネジメントゲームの各グループの結果

グループ名	①2030年〔15年後〕			②2045年〔30年後〕		
	人	財政	コメント	人	財政	コメント
A	○	○	老人地区が固まってしまったり、子どもが固まってしまったりするのをどうすれば良いか。	○	○	福祉関係は4地区に散らばったが、小学校が固まってしまった。習志野市の状況が表れているか。
B	+2	○	年を取った人が厳しい世の中になっている。	○	-3	予算不足の状態。市民会館やホールの予算を削らなければならないか。
C	+2	-1	老朽化した施設をまず複合化しようと考えたが、バランスを考えて新設複合化を検討した。	○	○	B地区が福祉センター1つだけ。高齢者だけのまちになったのは問題。C地区を改善できれば。
D	○	○	C地区が高齢者だけになってしまった。若い人に配慮した工夫が必要。	+3	-1	さんざんな状況。予測不能。
E	○	○	小学校が全4地区、バランスが取れている。	○	+1	・PFIで2獲得 ・D地区が福祉センターだけだが若返り可能。
F	○	○	バランスはとれているが、やりくりが難しいと感じた。	○	○	福祉センターは4地区にある。真ん中に大きなものを作るべきでは。

みんなで考える「まちづくりと公共施設の再生」結果報告



公共施設マネジメントゲームのまとめと振り返り

グループ名	①みんなが納得するまちづくりができましたか	②その理由	③これからの15年に向けて
A	・共存していかなければ難しい。	・都市開発に向かって集中管理で考えるべき。施設の合併・年代間の共有が必要。	・老朽化している建物を早期に発見して適切に補修・改築していく。
B	・いや、できませんでした。	・高齢者に配慮した結果予算が不足、偏りができた。地区の合併や共有が必要か。	・若い人も減るため、税金も挙げられないため、福祉施設にカフェを作って対応したい。
C	・申し訳ないができなかった。	・B地区が高齢者だけのまちになった。D地区は跡地の活用ができていない。	・B地区の若返りを図りたい。小学校はどの地区にもあった方が良い。複合化やカフェの設置で空きスペースの活用可能。児童同士の交流を、ネットを活用して
D	・なかなか難しかった。BとCが高齢者が多くなった。	・少子高齢化で、地区による偏りが出してしまう。	・少子高齢化がさらに進み、財政的にも厳しい。コンパクトシティづくり、移動の負担の少ない複合施設が重要。子どもと高齢者の交流が、双方にとって良い。
E	・できる限りのことはした。最低限はできたのは、	・高齢者と子供のバランス合わないが、小中学校があるところをフルに活用するように複合化した。市民協力や民間との連携を進めた。	・箱モノを作るのは難しいのでは。跡地の活用について、市民のアイデアを募る。ICTやAiを活用して新サービスを検討する。
F	・完ぺきとは言えないが、ほぼできた。	・C地区に市民会館と福祉センターしかない。学校を廃止したため。	・若い人がまちに入ってこなければならぬ。「住みたいまち」にする。魅力あるまちをどうやってつくるのか。

みんなで考える「まちづくりと公共施設の再生」結果報告



グループごとの発表内容のまとめ

グループ名	本日の感想・気づき	習志野市の今後に向けて
A	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりについて、施設が偏ることがよいのか悪いのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「あなたは何かができるのか」、という市民への呼びかけが重要。 ・ユニット型のサテライト配置もあるのでは。 ・官民の協力体制をもっと考えるべき ・総合相談窓口で対応すれば、各地区に施設がなくてもよい。
B	<ul style="list-style-type: none"> ・運営の仕方を考え直すべき。人件費削減、バイトを増やす。 ・若い人がすみたいまちづくり ・まちづくりのコンパクト化 ・利用の有料化 ・現状課題の認識：若い人に関心をもってもらいたい。交流の場。 	
C	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の複合化に付随して、施設内での交流を活発化させる必要がある。親世代から子世代への伝統の継承。 ・跡地の有効活用：施設の集中化によって更地化したところを有効活用。 ・動物と触れ合える施設、ねこカフェ、ドックラン ・予算獲得、外部予算の確保、中長期的な予算のビジョン、建替え順の検討。 ・ゲームが楽しかった 	
D	<ul style="list-style-type: none"> ・みんな公平になるような箱モノ作りは難しい。 ・既存施設の有効活用が必要。 ・小学校を減らすと通学時間が長くなることへの対応が必要。 ・中間層を大切にすべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・財政が根幹。施設の偏りが目立つ。外部からの予算を活用できないか。限られた予算でどう対応するか。 ・利用率を踏まえて統合等の対応を行う。利用率を上げる。 ・複合化すると予算が余計にかかることに留意が必要。 ・少子超高齢化におけるコミュニケーションしやすい場づくりを。 ・大久保地区への路線バスの拡充も必要では。
E	<ul style="list-style-type: none"> ・将来を予測したまちづくりが必要。将来必要なことも想定すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まず市民ニーズが何かを的確にとらえるべき。ニーズの掘り起こしも。 ・公共施設の優先順位を考えるべき。 ・地域の特性に合わせたまちづくりが重要。 ・施設運営の担い手として高齢者に関わってもらう。 ・「健康な市民が暮らせるまちづくり」が重要。
F	<ul style="list-style-type: none"> ・題材が限られていたため、小さな案になった。もっと対象を広げると良いのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力あるまちづくり、コミュニケーションができる施設が重要。 ・団地の空き家問題への対応を。